

きらめき

vol 45
2026.7.10

あこがれを仕事に
ありがとうを力に

発行／社会福祉法人 北星会

編集／広報誌編集委員会

〒626-0033 京都府宮津市字宮村1277 TEL：0772-22-8233 FAX：0772-22-8477

ホームページ：https://hokuseikai.or.jp Eメール：info@hokuseikai.or.jp

新人研修を行いました

与謝の園

この春、与謝の園に10代の職員3名と20代の職員1名が仲間入りしました。介護の仕事も社会人としての生活も初めてということで、入職後は「福祉とは何か」「社会人として大切にしたい姿勢」などの基礎から、介護技術の練習、各部署での体験まで、段階を踏みながらゆっくりと研修を進めました。



エーションがとても活発で、入居者の皆さまが楽しそうに参加していただけのことによりがいを感じたようで、新入職員もその輪の中に入り、一緒に笑顔で過ごす時間が増えてきました。今後は、自分で考えたレクリエーションを企画し、入居者の皆さまに楽しんでもいただきたいという思いも芽生えているようです。



食事介助の研修では、実際に「介助される側」を体験。いろいろな食事形態を試食体験することで、入居者の皆さまが日々どのような形で食事をされているのかを肌で感じてもらいました。味だけではなく、食べやすさや飲み込みやすさ、食事の姿勢による違いなど、普段の暮らしでは気づくことがない視点に触れる貴重な時間となりました。

新入職員の志望動機は、「インターンシップの時、高齢者の方と接する中で、その笑顔にやりがいを感じたいと思ったから」。



入職して3か月が経ち、少しずつ業務にも慣れてきましたが、介護業務の奥は深く、難しさを感じる場面も出てきています。特に「コミュニケーションの話題を見つづけるのが難しい」と感じることもあるようですが、日々の関わりの中で少しずつ入居者の皆さまとの距離が縮まり、会話のきっかけも増えてきているようです。介護技術については、先輩職員の動きや声かけを見て学びながら、できることを一つずつ増やしていけたらと思います。



また、施設に導入されているインカム・眠りスキャン・アラエルといった最新機器の操作にも慣れ、業務の流れを理解しながら活用できるようになってきました。こうした機器を使いこなせるようになることで、入居者の皆さまの安心で快適な暮らしにつながることも実感していくのではないのでしょうか。

これからも入居者の皆さまに寄り添いながら、たくさんの方の笑顔を生み出し、新入職員も共に成長していきたいと思っています。



食べる力を支える、なぎさ苑の管理栄養士

なぎさ苑では、「その方の能力を引き出す」「その方らしい生活を支える」「笑顔を大切にする」というケア方針のもと、管理栄養士が日々の食事づくりを担っています。食べることは、生きる力そのものの。だからこそ、安心して召し上がっていただける食事を大切にしています。

その方の“力”を活かす食事支援

管理栄養士は、ご利用者の心身状態や嚥下機能、栄養状態を丁寧に評価し、「今できること」を活かせる食事形態やメニューを提案します。リハビリ職や介護・看護職と連携し、食べる動作の維持・向上につながるよう、無理のない形で支援を行っています。

その方らしい生活を支える食の工夫

食事は、健康状態や生活リズムに大きく関わる大切な時間です。なぎさ苑では、ご利用者の心身の状態を丁寧に把握し、無理なく安全に食べられることを第一に考えた食事づくりを行っています。

栄養状態や嚥下機能に応じて食事形態を調整し、必要に応じて多職種と連携しながら、その方が今の力で安心して食べられる環境を整えています。また、季節

の食材を取り入れた献立や行事食を通して、日々の生活に小さな楽しみや変化を感じていただけるよう工夫しています。

「食べられた」「量が少し増えた」などの変化は、ご本人の自信につながり、生活の質を高める大切な一歩です。私たちは、食事を通してその方らしい生活の継続を支えることを目指し、日々の支援に取り組んでいます。

笑顔を生む食事の時間を

「おいしいね」「食べられたよ」という言葉や笑顔は、私たち職員の大きな力になります。厨房スタッフと協力し、衛生管理や調理工程の確認を徹底しながら、安心・安全で、心がほっとする食事を提供しています。



ご家族からの相談にも丁寧に対応し、食事量の変化や嚥下の心配など、気になる点を一緒に確認しながら改善を図っています。

管理栄養士のやりがい

なぎさ苑の管理栄養士は、献立作成だけではなく、「食を通して、その人の生活と笑顔を支える専門職」として活躍しています。

- ・食事をきっかけに元気が戻る瞬間に立ち会える
- ・多職種と協力し、状態改善に貢献できる
- ・ご家族から「安心しました」と言っていた
- ・行事食やイベントで、楽しみを創り出せる

こうした日々の積み重ねが、管理栄養士としての大きなやりがいにつながっています。

これからも、食べる喜びを大切に

なぎさ苑は、これからもご利用者とともに家族に寄り添い、『その方らしい生活』を支える食事づくりに取り組んでまいります。食事に関するご相談は、いつでもお気軽にお声かけください。



AI音声入力システム「ハナスト」導入と ICT機器等管理チーム結成

天橋の郷

様々な業界で、人手不足が課題となる中、介護施設では、人材確保と同時に限られた人員でも安全で質の高いケアを提供できる環境づくりが求められています。

天橋の郷では、介護記録・情報共有・業務の効率化・業務負担の軽減等を図るために、長期入所・短期入所の各ユニットに、様々な ICT 機器を導入しています。

ご利用者の睡眠状態や体動をリアルタイムで把握できる見守り支援システムの「眠りスキャン」、ベッド上のご利用者の起き上がりや離床時の様子を映像で知らせる「眠りスキャン eye」、介護スタッフが話しかけるだけで記録が完了する AI 音声入力システム「ハナスト」等です。



これまではケアを行う度にパソコン等のある場所まで行き、詳細な情報をキーボードで打って記録する必要がありましたが、昨年度新たに導入した「ハナスト」は、ケアを行うと同時にハナストアプリが入ったスマホに話しかけることで記録入力ができます。ハナストで記録し、途切れなく次の業務に移ることができるため、業務時間の短縮と効率化につながっています。また、ハナストは、職員への一斉連絡や伝達が行えるため、情報共有にも時間を要することがなくなりました。

一方で、このような便利なツールもネットワーク障害や機器の故障等の不具合が生じることがあります。不具合が生じると一気に生産性が落ち業務が滞ってしまいます。

これまでは、限られた職員のみが不具合への対応や業者との連絡調整を行っていたため、復旧までに時間を要していました。そうした中、今回、天橋の郷にパソコンスキルの高い8名の職員による ICT 機器等管理チームを結成し、不具合への迅速な対応と復旧、さらには施設ケアに応じたカスタマイズ等を行うこととなりました。

職員の業務負担を軽減する ICT 機器とそれをサポートする管理チームにより、ご利用者の安心安全が安定して図られることとなります。そして、負担軽減により生まれた時間をご利用者のケアやコミュニケーションの時間に充てることで、一層の満足度向上につなげていきます。



Instagram
「ハナスト」の様子が
ご覧いただけます！

ケアコネ導入で広がる

つながる支援

ー外部機関との連携もスタートー

天橋園



当法人では、ご利用者の情報をリアルタイムで共有できるアプリ「ケアコネ」の導入を進めています。北星会の事業所間ではすでに活用が始まっており、「必要な情報がすぐ届く」「連絡の行き違いが減る」「記録や連絡の手間が軽くなる」

など、現場ではさまざまな効果が実感されています。

ケアコネを使うことで、電話やFAXに頼らず、ご利用者の状況をその場で共有できるようになりました。職員同士の認識のズレも少なくなり、より安心して支援に取り組める環境づくりにつながっています。

さらに、法人外の関係機関との運用も進めており、サービス調整や情報共有の場面で活用が広がっています。外部との連携がスムーズになることで、ご利用者を中心とした支援体制がより強まり、地域全体での協力にも良い影響をもたらしています。

今後、関係者が同じ情報を共有しながら支援できる「つながるケア」を進め、より質の高いサービスの提供につなげていきます。



保護者連絡アプリ「イロドリ」を導入しました

栗田のびのび放課後児童クラブ

栗田のびのび放課後児童クラブでは、4月から保護者連絡アプリ「イロドリ」の運用を開始しました。これまで、急な欠席連絡はお電話でお願いしていましたが、今後はスマートフォンやパソコンから、アプリを通じて簡単にご連絡いただけるようになりました。

入室した子どもたちは、自分のQRコードをタブレットにかざして入室記録を行います。新しい仕組みにもすぐに慣れ、カードを手に楽しそうに記録する姿が見られています。



入退室の情報は保護者のアプリにも反映されるため、「ちゃんと着いたかな」という不安も解消され、安心していただけます。また、電話連絡の手間が省けるだけでなく、支援員も事前に欠席情報を確認できるため、出席確認がパソコン上でスムーズに行えるようになりました。業務の効率化にも大きく役立っています。さらに「イロドリ」には、支援員同士で申し送りができる日誌機能も備わっています。全員が同じ時間に顔を合わせられない日でも、情報共有がしやすくなるのが期待されています。今後も、ご家庭に安心してご利用いただけるクラブ運営をめざし、機器の活用に慣れながら、よりよい環境づくりに取り組んでいきます。



親子の笑顔が弾けた! — 天橋園

『はぐフェス』に天橋園ブースを出展しました!

令和8年5月31日(日)にミップルで開催された、宮津市主催の子育て応援フェスタ『はぐフェス』。地域の皆様と一緒に楽しい時間を過ごすため、天橋園からも盛りだくさんの企画でブースを出展しました!

当日は多くのお子さんや保護者の方にお立ち寄りいただき、会場は終始大賑わい。

これからの季節にぴったりの『風鈴作りワークショップ』では、子どもたちが真剣な表情で世界に一つだけの涼しげな風鈴を完成させていました。



また、おもちゃコーナーに設置したトミカのおもちゃも大人気!子どもたちが入れ替わり立ち代わり、夢中になって遊んでいました。

体を動かす『スピードラダー』では、「もう一回やる!」と何度も挑戦する元気いっぱいなおさんの姿が見られました。



さらに、天橋園おもちゃ図書館でも実施している『子ども服のリユース展示』も、「助かります!」と多くの親御さんに喜んでいただくことができました。



地域の皆様のたくさんの笑顔に出会えた、とても温かい一日となりました。ブースに足を運んでくださった皆様、本当にありがとうございました!



「ふれあいフェスタ2026天橋の郷」

天橋の郷

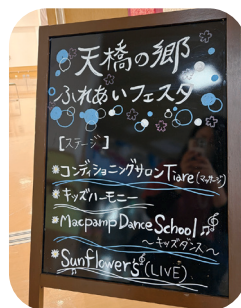
5月10日に『天橋の郷ふれあいフェスタ2026』を開催しました。今年のふれあいフェスタは「地域のおすすめ大集合」をテーマに、食べ物だけでなく、身体や自然にやさしい様々な「地域のおすすめ」を提供しておられる方々に出演していただきました。

当日は天候にも恵まれて、たくさんの方に足を運んでいただきました。屋内外のフードコーナーには天橋の郷自慢の特製ばら寿司に

加え、たこ焼きやクレープなど地域のおいしいが大集合。販売コーナーには、天橋の郷デイサービスをご利用の皆さんが作成された可愛い小物、母の日にちなんだアレンジフラワー、手作りせけんなどが並びました。またステージ上では子ども達のかわいい歌やダンスが披露され、一日を通して熱気あふれる賑やかなイベントになりました。

『天橋の郷ふれあいフェスタ』は天橋の郷が開設した平成17年から開催し、今年で16回目となります。毎回趣向を凝らして開催しておりますが、これからも地域の皆様に天橋の郷を知っていただき、地域の皆さんとの交流の場として楽しい内容をお届けしたいと思っております。

次年度も開催を予定しておりますので、ぜひ足をお運びください。



必要な方に、最適なリハビリテーションを！

デイケアの「卒業」と「再開」について ——— なぎさ苑

通所リハビリテーション

デイケア（通所リハビリテーション）は、ずっと通い続ける場所ではなく、目標を達成して次のステップへ進む「卒業」のあるサービスです。しかし、卒業したらそれでおしまいではありません。当施設は、地域の医療や介護とつながり、必要に応じていつでも戻ってこられる「循環型施設」としての役割を担っています。

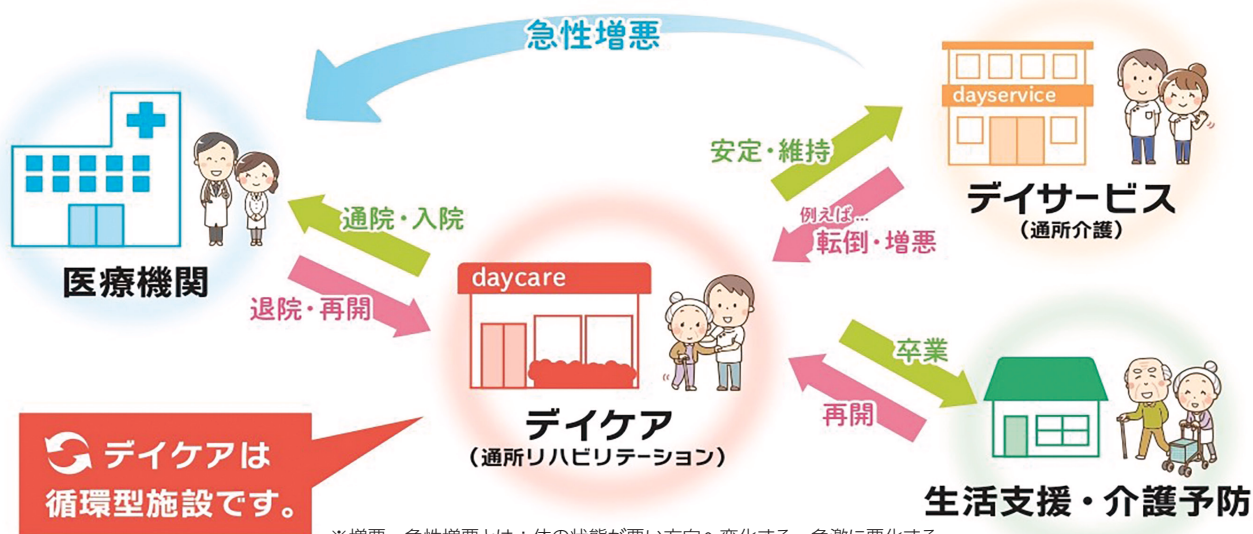
・目標を達成したら、次のステップへ（緑の矢印）

リハビリによって状態が「安定・維持」できたら、デイサービスやご自宅での生活（生活支援・介護予防）へとステップアップ（卒業）します。

・もしもの時は、いつでも再開（ピンクの矢印）

卒業後に「転倒してしまった」「体調が落ちてしまった（急性増悪）」、あるいは「新しい病気で入院・退院した」という場合は、いつでもデイケアを再開していただけます。

変化に合わせて何度でも頼れる「循環型施設」として、私たちはもう一度定めた目標の達成に向けて、全力でリハビリテーションに取り組んでいきます。



※増悪・急性増悪とは：体の状態が悪い方向へ変化する。急激に悪化する。

<なぎさ苑でのリハビリの考え方>

リハビリとは『誰かにしてもらう』ものではなく『自らがするもの』
できる限りご自身で身の回りのことをしていただくことで、在宅での自立に繋がります。

身体の活力を取り戻す『パワーリハビリ』



- ✓ 老化で使われなくなった筋肉を再教育する軽い負荷のトレーニング。
- ✓ 「立ち上がりやすくなる」「転びにくくなる」などの効果が期待できます。
- ✓ 心臓への負担は入浴よりも軽く、安全です。

なぎさ苑での1日の流れ



75歳／要支援1／右人工股関節置換術後

利用開始時 杖が必要になり、買い物や地域の体操に参加できなくなった。
目標 再び外出や地域の体操に参加できるようになりたい！

杖なしで歩けるように！地域のサロン活動にも復帰し、見事デイケア卒業！



87歳／要介護2／右大腿骨頸部骨折（脳梗塞の既往による右麻痺）

利用時の状態 外出中に転倒・骨折し入院のためデイケア中止。退院後にデイケアを再開。
目標 自宅内の移動の安定と、段差昇降の安定。

デイケア再開！下肢の筋力も向上し、今は身の回りのことを自立。安心して利用継続中！



半日体験利用も行っております。
ご利用に関するご相談など、お気軽にお電話ください。

医師、歯科衛生士、管理栄養士などの専門職員が常駐しており、一日を通して安心してご利用いただけます。

訪問入浴事業所の今

与謝の園
訪問入浴介護事業所

■ 新しい入浴車で、より快適に

平成19年に24時間テレビより寄贈いただき、長年地域の入浴サービスを支えてきた訪問入浴車。令和8年3月、新しい訪問入浴車を導入したことで、この春ついに役目を終えました。

現在の活動エリアは、宮津市文珠～与謝野町内を中心に、高齢の方や障害のある方へ訪問入浴サービスを提供しています。



新しい入浴車はボイラー性能が向上し、スイッチを入れるとすぐに適温のお湯を準備できる優れものです。

これまで室内での入浴準備に時間がかかっていましたが、その時間が短縮されたことで、ご利用者との会話やコミュニケーションが増え、より安心して入浴していただけるようになりました。



■ “中西” が3人も在籍中

令和8年4月には新たな職員を迎え、訪問入浴介護職員5名のうち3名が「中西」という、驚きの“中西率60%”に。

ご利用者からは「ミドルネームをつけてはどう？」という楽しい提案もいただき、個性あふれる名札が完成しました。現場がさらに明るくなる出来事でした。

■ 2台体制でサービス向上へ



令和8年5月には宮津市社協より訪問入浴車を譲り受け、ついに2台体制となりました。

より多くの方に、より柔軟にサービスを届けられる体制が整い、事業所は新たな一步を踏み出しました。

今後も、在宅で生活されている皆さまに「気持ちよく入浴できる時間」をお届けするとともに、ご利用者も職員も笑顔になれるサービスを提供してまいります。



おかげさまで
設立50周年

社会福祉法人北星会

特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・高齢者グループホーム
通所介護（デイサービス）・通所リハビリ（デイケア）・短期入所（ショートステイ）
訪問介護（ホームヘルパー）・訪問入浴・居宅介護支援事業・訪問リハビリ
介護予防事業・配食サービス・放課後児童クラブ・子ども第三の居場所

法人本部

宮津市宇宮村1277番地
TEL.0772-22-8233

天橋園

宮津市宇宮村1277番地
TEL.0772-22-0320

なぎさ苑

宮津市宇須津2268番地の1
TEL.0772-46-1200

天橋の郷

宮津市宇獅子190番地の4
TEL.0772-22-0066

与謝の園

与謝郡与謝野町明石2120
TEL.0772-42-0051

ホームページはこちら

